

- (イ) 日 時
昭和53年11月1日から昭和53年11月7日まで
- (ウ) 場 所
郡山市麓山 郡山市中央公民館
- (エ) 参 加 者
1,500名
- ③ 文化財防火デー
毎年1月26日を文化財防火デーと定めているが、県内各消防署等の協力を得て、県下55の市町村で防火訓練・防火診断、査察を行うとともに、県教育委員会においても、広報媒体の活用により文化財の防火に対するけいもうを行った。
- ④ 第28回福島県民俗芸能大会
ア 目 的
本県内に遺存する民俗芸能のうち、価値の高いものを広く公開し、民俗芸能に対する一般の理解を深めるとともに、公開芸能の記録保存を行う。
- イ 主 催
県教育委員会、福島市、同市教育委員会、勅福島県文化センター、福島民友新聞社
- ウ 期 日
昭和53年7月31日(月)
- エ 会 場
福島県文化センター大ホール
- オ 出 演 芸 能
金沢の十二神楽(福島市)、南須釜の念仏踊(玉川村)、会津の彼岸獅子(会津若松市)、御宝殿の稚児田楽・風流(いわき市)、請戸の田植踊(浪江町)
- カ 観 覧 者
約 600名
- ② 特別公演福島県民俗芸能大会
ア 目 的
昭和53年度全国高等学校総合体育大会に協賛して開催し、同大会に訪れた人びとに対して、本県地方文化と風土の理解と認識深める一助とした。
- イ 主 催
県教育委員会、福島市、同市教育委員会、勅福島県文化センター
- ウ 期 日
昭和53年8月1日(火)
- エ 会 場
福島県文化センター大ホール
- オ 出 演 芸 能
第28回県民俗芸能大会に同じ。
- カ 観 覧 者
皇太子同妃両殿下が御臨席。ほかに招待者約1,000名。
- ⑤ 第20回北海道・東北ブロック民俗芸能大会
昭和53年9月10日(日)、青森市民会館で開催され、本県からは「八槻都々古別神社の七座の神楽」が出演した。観客約500名。
- ⑥ 民俗音楽出版
ア 目 的
本県内に遺存しているわらべ歌について、録音採譜

したものを出版(社会教育や学校における音楽教育への資料として活用をはかる。

イ 対 象

昭和47年度における民俗音楽調査で録音採譜したわらべ歌を主とした150曲。

ウ 出版方法等

採譜した曲の音譜、歌詞等について、福島県合唱連盟に委託。

⑦ 文化財展示公開施設

施 設 名	組 織	住 所
福島県美術博物館	県 立	福島市春日町
福島県歴史資料館	県 立	福島市春日町
本宮町立歴史民俗資料館	町 立	安達郡本宮町
開 成 館	市 立	郡山市開成
須賀川市立博物館	市 立	須賀川市池上町
船引町歴史民俗資料館	町 立	田村郡船引町
石川町歴史民俗資料館	町 立	石川郡石川町
喜多方市郷土民俗館	市 立	喜多方市字柳原
若松城天守閣郷土博物館	立 立	会津若松市追手町
裏磐梯民芸館	個 人	耶麻郡北塩原村
野口英世記念館	財団法人	耶麻郡猪苗代町
会津民俗館	財団法人	耶麻郡猪苗代町
河東町民俗館	町 立	河沼郡河東町
奥会津地方歴史民俗資料館	町 立	南会津郡田島町
奥会津南郷民俗館	村 立	南会津郡南郷村
相馬市教育文化センター	市 立	相馬市中村
いわき市文化センター	市 立	いわき市平
白竜会竜城美術館	財団法人	いわき市勿来町
四倉史学館	個 人	いわき市四倉町
金山町歴史民俗資料館	町 立	大沼郡金山町
白河市歴史民俗資料館	市 立	白河市字中田
二本松歴史資料館	市 立	2本松市本町

(5) 銃砲刀剣類の登録状況

美術品もしくは骨とう品として価値のある古式銃砲や、美術品として価値のある刀剣類の登録を、登録審査委員の審査に基づいて実施した。

① 登録審査委員

平原 松夫 福島市泉字泉川8-4
 宇井 正三 安達郡白沢村白岩字大岩入133
 堤 章 会津若松市馬場町5-1
 武田 久夫 郡山市深沢2丁目2-19